様式第１５〔申込者→中小機構〕

　年　　月　　日

独立行政法人　中小企業基盤整備機構

　 高度化事業部長　宛て

組　織　名：■■商店街振興組合

代表者氏名：代表理事　●●●●

**中心市街地・商店街等診断・サポート事業（パッケージ型支援）申込書**

　中心市街地・商店街等診断・サポート事業（パッケージ型）の利用を申込みます。

**(１)　応募者の概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 応 募 者  基本情報 | 住所  （組織の所在地等） | 〒□□□－□□□□  ●●県●●市■■■－■■－■ |
| 窓口担当者の氏名等  （連絡の窓口） | 役職：理事  氏名：山田　太郎　（フリガナ）ヤマダ　タロウ |
| 窓口担当者の連絡先  （電話） | 固定電話：■■■－■■■■－■■■■ |
| 窓口担当者の連絡先  （E-mail） | --------＠--.--.jp |
| 活性化課題  （いずれかに「✓」） | １．中心市街地活性化課題　→（２－１）に記載  ２．商店街等活性化課題　　→（２－２）に記載 |

**(２―１)　課題解決・商業活性化を目指す地域組織の基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| **Ⅰ. 中心市街地活性化の取組段階（いずれかに「✓」を記載ください）** | |
| １．中心市街地活性化の検討段階  ２．協議会準備・設立段階  ３．基本計画準備・策定段階  □４．基本計画最終年度において次期計画を検討段階  □５．基本計画終了し次期計画を検討（インターバル）  □６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| **Ⅱ.協議会等の基盤 （いずれかに「✓」を記載ください）** | |
| 協議会設立済みの場合 | １．商工会・商工会議所が事務局  ２．まちづくり会社が事務局  ３．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 協議会未設立の場合 | ４．主に市町村が推進  ５．主に商工会・商工会議所が推進  ６．主にまちづくり会社が推進  ７．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **Ⅲ．地域組織が抱える課題（該当する数字に「ㇾ」を記載してください（※複数回答可））** | |
| １．協議会の設立準備  ２．協議会設立後の運営方法体制強化  ３．協議会設立に向けたまちづくり会社等の設立･運営改善  ４．行政へのまちづくり計画に対する意見提示  ５．基本計画第７章（商業の活性化）への掲載を目指す事業全般に係わる検討  ６．エリアマネジメントに関する関係者の理解促進  ７．エリアマネジメント推進のための仕組み構築  ８．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |

**(２―２)　課題解決・商業活性化を目指す商店街等の基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| **Ⅰ. 商店街等基本情報** | |
| 商店街等の名称 | ●●●●●商店街振興組合 |
| 商店街等の所在地 | ●●県●●市■■■－■■－■ |
| 商店街等を構成する  店舗数 | ５０店舗（令和●年●月現在） |
| 商店街等組織の加盟店舗数（組合員数等） | ４０店舗（令和●年●月現在） |
| 業種の構成割合 | 飲食店●●％、衣料品・身の回り品●●％、  最寄品小売店●●％、サービス店●●％、  百貨店・大型ディスカウント店●●％、その他●●％ |
| 主な顧客層 | １０代●●％、２０代●●％、３０代●●％、  ４０代●●％、５０代●●％、６０代●●％、  ７０代以上●●％ |
| 集客核の存在（商業施設、公共公益施設、コミュニティ施設、等） |  |
| 商店街等の未利用地数 | ５区画 |
| 商店街等の空き店舗数 | １０店舗（令和●年●月現在） |
| 商店街等組織の  設立年月日 | ●●●●年●月●日 |
| 貸店舗に関する情報 | 平均坪単価　　●●円～●●円程度 |
| 売り物件に関する情報 | 平均坪単価　　●●円～●●円程度 |
| **Ⅱ. 商店街の組織概要等（該当する数字に「✓」を記載ください）** | |
| A．組織形態  １．商店街振興組合：商店街振興組合法に基づき行政庁の認可を受けた組合  ２．事業協同組合等：中小企業共同組合等に基づき行政庁の認可を受けた組合等  ３．その他の法人：株式会社、一般社団法人、公益社団法人、NPO法人等  ４．任意団体：法人格を持たない団体  B．商店街のタイプ  １．近隣型商店街  （最寄品※中心の商店街で、地元住民が徒歩又は自転車などで移動して日用品の買物を行う商店街）  ２．地域型商店街  （最寄品及び買回り品※が混在する商店街で、近隣商店街よりもやや広い範囲であることから、徒歩、自転車、バス等で来訪する商店街）  ３．広域型商店街  （百貨店、量販店等を含む大型店があり、最寄品より買回り品が多い商店街）  ４．超広域型商店街  （百貨店、量販店等を含む大型店があり、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、遠距離から来街する商店街）  ※最寄品：消費者が頻繁に手軽にほとんど比較しないで購入する品物。加工食品、家庭雑貨など。  ※買回り品：消費者が２つ以上の店を回って比べて購入する商品。ファッション関連、家具、家電など。  C．立地環境  １．繁華街　　２．住宅街　　３．駅前　　４．ロードサイド  ５．オフィス街　６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| **Ⅲ．商店街等が抱える課題（該当する数字に「✓」を記載してください（※複数回答可））** | |
| （１）外部環境における課題  １．地域人口の減少　　２．地域の高齢化　　３．地域消費（商圏）の縮小  ４．観光客の減少　　５．大型店舗との競合　　６．地域の魅力・ニーズの変化  （２）商店街等における課題  １．次世代リーダー・後継者不足　　２．空き店舗の増加　　３．空き店舗の流動化　　４．施設等の老朽化　　５．店舗間のコミュニティの希薄化  ６．業種構成の偏り　７．集客力のあるコンテンツ不足  ８．周知・広報不足／認知度の低下　９．自治体との連携不足　　 10．デジタル活用の遅れ　　　 11．その他（　　　　　） | |

**(３)　課題解決・目指したい姿等**

|  |  |
| --- | --- |
| 地域の  課題 | ※（2）に記載いただいた情報を用いながら、本事業に応募する背景となる課題を具体的に記入してください。  ・商店街自体の状況を具体的に記載してください。  ・その際、商店街が立地する地域の状況や特性、商店街等の業種構成、空き店舗の状況、公共施設等店舗以外の施設の立地等、現状の商店街の店舗構成の特徴についても触れてください。  ・また、商店街や地域における課題が複数ある場合は、優先順位を整理して記載いただくよう御願いします。  （例）地域の人口が減少し、大型店舗が郊外に出店したため、商店街の来街者が減少している。飲食店が不足し、物販に業態構成が偏っていることが理由の一つと考えられるが、そもそも商店街の来街者のニーズの把握ができていない。仮にニーズを把握できたとしても、テナントを誘致するために、活用可能な空き店舗の確保ができていないことも課題であるが、一番の課題は、商店街全体をとりまとめる次世代リーダーが不足していることである 等 |
| 目指したい姿 | ・商店街等が「何をやるか」ではなく、これまで商店街等が大切にしてきた価値観をもとに、「どうありたいのか」、「誰に対して、どのような価値を提供したいか」を検討し、目指したい姿を記載してください。  （例）子育て世代が安心して子育てできるよう、既存の商店街等の利用者である高齢者と、地域外の若い世代、子育て世代が交流し、共に支え合える空間を目指したい 等 |
| 希望する  主な支援内容 | ※現状の課題を踏まえ、課題解決に向けて専門家からどのような支援を受けたいか、現在の想定で構いませんので、該当するものがあれば「✓」を記載ください。  １．商店街等の店舗構成の見直しに向けた検討  ２．空き店舗対策の検討や事業化  ３．新規事業創出の検討・実施や既存事業のブラッシュアップ  ４．集客拠点整備等、ハード整備事業の検討及び実施体制・実施方法の検討・実施  ５．デジタル化、DX関連の整備事業の検討・実施  ６．商店街組織やまちづくり組織のあり方や、MAP’S＋Oを意識した事業推進体制の構築に向けた検討及び取組の着手、改善  ７．地域ブランディングなど面的な活性化及び空間利活用に関する検討や事業化  ８．外部連携（域外の民間事業者等との連携・事業化等）に関する検討・実施  ９．計画・ビジョン等の策定及び当該計画等に基づく事業の実施（中心市街地活性化法に基づく基本計画の策定及び認定基本計画に基づく事業の実施は除く）  １０．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**(４)　現在の取組状況や過去に実施した活動事例、連携したことのあるプレーヤーの有無**

|  |  |
| --- | --- |
| 現在の取組状況 | ※「（3）課題解決・目指したい姿等」に関し、既に、現在取り組んでいる事業等がありましたら、記載ください。その際、地域関係者等との連携がありましたら、どのような体制で進めているか併せて記載ください。 |
| 過去の  活動事例 | 【時期】  ※○年○月頃　○年～○年　等 |
| 【取組内容】  ※当該商店街・協議会等における過去の取組について簡潔に記入してください。 |
| 【地域関係者等との連携状況】  ※上記の取組について、地域関係者等との連携があった場合、どのような役割分担で実施したか具体的に記入してください。 |

※必要に応じて、行を追加してください。

**(５)　実施体制**

①パッケージ型支援の実施体制

パッケージ型支援の運営に係る地域事務局として申請者等の主要メンバー（2～3名程度）をご記入ください。

　　地域事務局は、中小機構との連絡窓口として、実施内容やスケジュールの調整、実施日の会場等手配、現地踏査やヒアリング先選定・アポイント等の手配、必要な地域データの収集等の業務を担います。

　　地域事務局の構成は、実施体制充実のために申請者以外の組織等のメンバーを加えることができます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属組織・役職 | 氏名 | パッケージ型支援における役割 |
| ●●●●●商店街振興組合 理事 | 山田 太郎 | コーディネーター |
| ●●●●●商店街振興組合 理事 | 海田 二郎 | 内容検討 |
| ●●●●●商店街振興組合 理事 | 空田 三郎 | 参加者の管理 |

②パッケージ型支援の協力体制

パッケージ型支援の外部協力メンバー（地域事務局以外の者）をご記入ください。

地域事務局メンバーを含め6～10名程度、外部協力メンバーは地方公共団体や地域支援機関、地域金融機関、地権者等からの参加を想定しています。備考には外部協力メンバーのスキル等をご記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属組織等 | 氏名または人数 | 備考 |
| ●●市役所商業課 | 田中五郎 | 次年度以降の商店街支援施策を設計するために参加。 |
| ●●信用金庫 | ２名 | 事業計画の助言等をするために参加。 |
| ●●自治会、●●NPO | ３名 | 今後商店街活動に参画を希望しているため参加。 |

※必要に応じて、行を追加してください。

**(６)　参考にしている事例**

※商店街等の活性化に関する取組を検討する際、参考にしている他地域の事例がある場合は、地域名や商店街名、注目している取組について、簡潔に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 地域名・商店街名 | ■■県■■市、■■■商店街振興組合 |
| 注目している取組 | （例）空き店舗活用の事例として、当該地域の立地環境に似ていることから注目している。空き店舗活用したあとの集客施設や新規店舗が継続していることから、どのような事業計画を考え、実践しているのかを知りたい。 |

**(７)　その他補足資料**

※応募するにあたり、補足資料があれば、別途、メール添付にてお送りください。